

平成 28 年度（2 期） 入学試験問題

国語総合・現代文 B

（時間 60 分 配点 100 点）

受験上の注意事項

- 【1】 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 【2】 受験票、解答用紙（OCR・記述）及び机上の受験番号シールに印刷された受験番号及び氏名が間違っていれば、速やかに監督者に知らせなさい。
- 【3】 この問題冊子は、本文が 19 ページあります。
問題冊子の印刷が不鮮明であったり、ページが落丁・乱丁していたり、解答用紙（OCR・記述）に汚れ等がある場合には、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 【4】 机には受験票・筆記用具及び時計等監督者から指示された物以外は置いてはいけません。
- 【5】 監督者の指示があるまで退室はできません。
- 【6】 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。
- 【7】 OCR 解答用紙はコンピュータで直接読み取るので、特に次の点に留意しなさい。
 - ① 記入には HB（0.5mm）のシャープペンシルを使用しなさい。
 - ② 解答用紙の **記入例** を参照して丁寧に記入しなさい。乱雑に記入したものは不利になります。
 - ③ 折り曲げたり、汚したりしてはいけません。
 - ④ 解答用紙には、答案に関係のない語句・記号を書いたり、落書きをしてはいけません。
（問題冊子には書き込んでもよい。）
 - ⑤ 誤って記入した場合は、消しゴムできれいに消して書き直しなさい。
 - ⑥ 解答が一桁の場合には右詰めで記入しなさい。（次の例を参照しなさい。）

〔例〕 解答番号①の解答が 4 である場合
解答番号②の解答が 12 である場合

解答番号	1	2	
解答欄	8 4	1 2	

↑ 左側をあける

注意

特に間違えやすい記入例
正 誤

1 | 1 | 1

これらは 7 と判断する恐れがあるので特に注意しなさい。

平成二十八年度 入学試験問題（2期）

国語総合・現代文B

— 次の文章を読んで、後の問（問一～問六）に答えよ。

日本以外の社会では企業の中の労働をその種類ごと^(注1)に職務として切り出し、各職務に対応する形で労働者を採用し、定められた労働に従事させるのに対し、日本型雇用システムでは、企業の中の労働を職務ごとに切り出さずに一括して雇用契約の目的にする。労働者は企業の中^(注2)のすべての労働に従事する義務があるし、使用者はそれを要求する権利を持つ。

もちろん、実際に労働者が従事するのは個別の職務である。しかし、それは雇用契約で特定されているわけではない。ある時にどの職務に従事するかは、基本的には使用者の命令によって決まる。雇用契約それ自体には具体的な職務は定められておらず、そのつど職務が書き込まれるべき空白の石盤であるという点^(注2)が、日本型雇用システムの最も重要な本質である。こういう雇用契約の法的性格は、一種の地位設定契約あるいはメンバ^(注2)ーシップ契約と考えることができる。

^ア日本型雇用システムの特徴とされる長期雇用制度、年功賃金制度及び企業別組合は、すべてこの職務のない雇用契約という本質からコロラリー（論理的帰結）として導き出される。

日本以外の社会のように具体的な職務を特定して雇用契約を締結するのであれば、企業の中でその職務に必要な人員のみを採用することになるし、その職務に必要な人員が減少すればその雇用契約を解除する必要がある。職務が特定されている以上、その職務以外の労働をさせることはできないからだ。ところが日本型雇用システムでは、雇用契約で職務が決まってい^(注2)ないのだから、ある職務に必要な人員が減少しても、別の職務で人員が足りなければ、その職務に異動させ

て雇用契約を維持できる。別の職務への異動の可能性がある限り、解雇が正当とされる可能性は低くなる。このように長期雇用制度はメンバーシップの維持を目的とする仕組みである。

日本以外の社会では職務ごとに賃金を決めるので、同じ職務に従事している限りその賃金額が自動的に上昇することはあり得ない。実際には熟練に応じて賃金額が上昇するし、それは勤続年数にある程度比例するが、賃金決定の原則が職務にあるという点は変わらない。これが同一労働同一賃金原則の本質である。ところが日本型雇用システムでは雇用契約で職務が決まっていないのだから、職務に基づいて賃金を決めることは困難である。その時に従事している職務に応じた賃金を支払うというやり方では、高賃金職種から低賃金職種への異動ができなくなり、長期雇用制度も難しくなる。そのため、日本型雇用システムでは賃金を職務と切り離し、勤続年数や年齢に基づいて決める。これが年功賃金制度である。しかし現実の日本の賃金制度は、年功をベースとしながらも人事査定(注3)によってある程度の差がつく仕組みである。そして、職務に基づく賃金制度に比べて、より広範な労働者にこの人事査定が適用されている点が大きな特徴でもある。

日本以外の社会では労働条件は職務ごとに決められるのだから、労働条件に関する団体交渉も職務ごとに行うのが合理的であり、特に欧州では企業を超えた産業別のレベルで行われる。ところが日本型雇用システムでは、賃金が職務で決まっていないのだから職務ごとに交渉することはできず、また企業を超えたレベルで交渉しても意味がない。そのため労働組合も企業別に組織され、企業別に交渉を行うことになる。

日本型雇用システムにおいて雇用契約で限定されていないのは職務だけではない。労働時間と就業場所についても原則として限定はない。

もちろん日本にも労働基準法が存在し、一日八時間、一週四〇時間という労働時間の「上限」を定めている。法律上は、時間外労働協定(三六協定)の締結を条件として認められる時間外・休日労働は例外的なものである。しかしながら現実の労働社会においては、労働基準法の「上限」は、(サービス残業でない限り)そこから残業代の割増がつく基準であるに過ぎない。正社員である以上、企業が時間外・休日労働を命令すればそれに従う義務があり、これに逆らって残業を拒

否すれば懲戒解雇の正当な理由となる。職務がなくなったことを理由とする整理解雇を厳しく制約する日本の判例^(注4)法理は、企業のメンバーとしての忠誠心を十分に示そうとしない者に対する懲戒解雇には極めて同情的なのである。

同様に、家庭状況を理由に転勤を拒否することも懲戒解雇の正当な理由になる。高齢の母と保育士の妻と二歳児を抱えた労働者に遠距離転勤配置転換を命じ、拒否したことを理由に懲戒解雇した事件についても、最高裁は解雇を有効と認めている。判決によれば、「家庭生活上の不利益は、転勤に伴い通常甘受すべき程度のものというべき」なのである。

このように、日本型雇用システムにおいては雇用契約で労働時間や就業場所は限定されておらず、いつ、どこで働くべきかは、職務と同様に使用者の命令によって書き込まれるべき空白の石盤となっている。そして、このような労働義務の時間的・空間的無限定性が、後述の非正規労働者との大きな処遇格差を正当化する理由となっている。残業や配置転換を自由に命じることができ、年次有給休暇の自由な取得もままならない正社員と、そういった^①コウソクの少ない非正規労働者では、待遇が異なることも正当化されるというわけである。

そしてなにより、この職務、時間、空間について限定のない労働義務の代償として、X。これを明確に語るのが、更新を繰り返して長期間就労してきた非正規労働者の雇止め^(注5)について、「いわゆる本工^(注6)を解雇する場合はとらずから合理的な差異があるべき」と述べた最高裁判決である。つまり、職務、時間、空間に限定のある非正規労働者は、それらが無限定の正社員を解雇しないですむためのバッファー（緩衝材）として利用されるべき存在なのである。

年功賃金制には、正社員の家族の生活費も含めて保障する生活給制度という意味がある。労働者にとって、その生活の必要性に応じた賃金が得られることは、長期的な職業生活の安心を与えるものだから、それ自体としてメリットであることは間違いない。特に、結婚して子どもができ、その子どもたちが学校に進んで教育費がかかるようになったり、そうした家族を^②シユウヨウでできるような住宅に住もうとすれば、それを賄えるだけの賃金^③がその時期に支払われるのは望ましいことである。

一方、使用者側は工場のブルーカラーに至るまで査定を行い、それに基づいて昇給昇進を決定するという方向性を一貫

して強化してきた。労働者の仕事への意欲や態度といった主観的な要素を重視して差をつけていく「能力主義管理」によって、労働者は仕事に全力投球することを求められ、これが長時間労働のような弊害を伴いながらも、企業の発展に大きく貢献してきた。

生活給制度のメリットは、裏返せばそのままデメリットになる。労働者にとって年齢に応じた生活費が賃金として確保されるのは有り難いことだが、それを確保するには同一企業に勤務し続けなければならず、労働者の移動へのインセンティブが著しく失われる。そして、保障する主体が一私企業に過ぎない以上、その保障の度合いは企業の経営状態に左右されるし、最悪の場合倒産や解雇によってその保障から排除されてしまったときに誰かが面倒を見てくれるわけでもない。もちろん、そのことが逆に労働者が企業の生き残りのために精力を傾注する忠誠心の源泉となり、企業にとってのメリットともなる。また、生活給制度がモラルハザードをもたらしなないように労働者の主観的要素を重視した査定方式が一般化したことが、できるだけ長く職場にとどまり上司に働いている姿を見せることを合理的な行動様式としてしまい、際限のない Y 労働をもたらししてきた面もある。

使用者にとって、生活給制度はそれが労働者の忠誠心を十分に引き出してくれる限りにおいて有用なものであるが、特に中高年層について報酬が労働の対価としてはあまりにも過大であると判断されると、それを^③ゼセイするためにさまざまな手段が駆使されることになる。一九九〇年代以来声高に唱道された成果主義とは、本音のところベビーブーム世代の賃金コストを下方に修正するために導入されたものであったように思われる。

以上のシステムが適用されるのは正社員のみであって、日本には膨大な数の非正規労働者が存在している。このシステムを「正社員」体制と呼ぶゆえんである。そして、非正規労働者の労務管理は正社員と全く逆になる。彼らは企業へのメンバーシップを有しておらず、具体的な（多くの場合単純労働的な）職務に基づいて（多くの場合期間を定めた）雇用契約が結ばれる。従って、彼らには長期雇用制度も、年功賃金制度も適用されないばかりか、企業別組合への加入もほとんど認められていない。その労働条件は外部労働市場で決定され、おおむね低賃金である。

高度成長期以前は臨時工の存在が大きな社会問題であったが、高度成長期の人手不足によってその大部分が正社員化し、代わって非正規労働者の主力は、主に家事を行っている主婦パートタイマーや、主に通学している学生アルバイトとなった。彼らは企業へのメンバーシップよりも、主婦や学生といったアイデンティティの方が重要だったので、このような正社員との格差は大きな問題とはならなかった。

このアルバイト就労が学校卒業後の時期にはみ出していったのが「フリーター」である。バブル崩壊後、一九九〇年代半ば以降の不況の中で、企業は新卒採用を急激に絞り込み、多くの若者が就職できないままフリーターとして労働市場にさまよい出るといふ事態が進行した。フリーター化は、彼らにとっては他に選択肢のないやむを得ない進路であった。

一方、家計補助の主婦労働力として特段社会問題視されていなかったパートタイマーについても、家事育児責任を主に負っている女性が家庭と両立できる働き方としてパートタイムを選択せざるを得ないにもかかわらず、それを理由として差別的な扱いを受けることが社会的公正に反するのではないかとの観点から、労働問題として意識されるようになった。

高度成長期にあっても、正社員の夫を持たないがゆえに、自分と子どもたちの生活を支えるために働かねばならず、しかもこどもの世話をするために正社員としての働き方が難しいシングルマザーたちがいたが、彼女らは特殊例と見なされ、格差や貧困の問題が非正規労働を論ずる際の中心的論点になることはほとんどなかった。二〇〇〇年代半ばを過ぎて、ようやく「格差社会」という形でこれらの問題が正面から論じられるようになった。

(濱口桂一郎著「『正社員』体制の制度論」佐藤俊樹編『自由への問い6 労働』に基づく)

(注) 1 職務……担当している仕事。営業・経理・広報・研究開発などの具体的な労働の種類。

2 メンバーシップ……会員資格。

3 人事査定……企業において、上司が部下の業績・勤務態度・意欲などを評価すること。

4 判例法理……裁判所が示した判断の蓄積によって形成された法律についての原理、考え方。

5 本工……期間の定めのない労働契約により採用された、特段の事情がない限り定年まで雇用される工場労働者。

6 インセンティブ……やる気を起こさせるような刺激。動機付け。

7 モラルハザード……制度的な保障があることによつて生じる責任感や倫理の欠如。

8 外部労働市場……労働者と使用者により、需要・供給の法則に従つて労働力を取引商品として形成される、通常の意味での市場。企業内での配置転換などによる労働の需給調整機能をさす内部労働市場と、対比的に用いられる。

問一 傍線部ア「日本型雇用システムの特徴とされる長期雇用制度、年功賃金制度及び企業別組合」とあるが、日本型雇用

システムの特徴についての説明として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、【OCR解答用紙】にその番号を記入せよ。解答番号は、

- 1 賃金を職務と切り離して決定する仕組みが、長期雇用制度の維持を可能にしている。
- 2 職務における熟練度の高まりに応じて、年齢とともに自動的に賃金が上昇する仕組みが年功賃金制度である。
- 3 職務の違いによる企業内での処遇格差が大きな問題となるため、企業別組合が形成される。
- 4 賃金決定の原則は年功にあるが、同じ種類の労働には同程度の賃金が支払われる仕組みが年功賃金制度である。

問二 傍線部①～③のカタカナを漢字に直し、【記述解答用紙】に記入せよ。解答番号は、①〈1〉・②〈2〉・③〈3〉

問三 空欄 に入る文章として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、【OCR解答用紙】にその番号を記

入せよ。解答番号は、

- 1 労働者の家族の生活費も考慮に入れた生活給制度が設けられている
- 2 経営者と直接労働条件や解雇に関する交渉を行える形態の労働組合が定着している
- 3 職務がなくなつても守られるべき雇用保障が存在している
- 4 勤続年数や年齢に応じて賃金が自動的に上昇する賃金制度が採用されている

問四 空欄 Y に入る最も適切な言葉を、本文中から三字で抜き出し、【記述解答用紙】に記入せよ。解答番号は、〈4〉

問五 傍線部イ「日本には膨大な数の非正規労働者が存在している」とあるが、非正規労働者の現状はどのようなものか。

- 不適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、【OCR解答用紙】にその番号を記入せよ。解答番号は、3
- 1 非正規労働者は、近年、働き方の違いによる格差や貧困の問題を象徴する存在としてクローズアップされている。
 - 2 非正規労働者は、正社員に適用される日本型雇用システムとは異なる労務管理の対象とされている。
 - 3 非正規労働者は、正社員の雇用を維持するためのバッファーとしての役割を負わされている。
 - 4 非正規労働者は、職務のない雇用契約で雇われ、その賃金は外部労働市場で決定され低水準である。

問六 本文の内容と合致するものを、次の1～4の中から一つ選び、【OCR解答用紙】にその番号を記入せよ。

解答番号は、4

- 1 企業に忠誠心を示していないとみなされて懲戒解雇の対象とされた労働者に対して、日本の判例法理は同情的な姿勢を見せている。
- 2 日本では法律により労働時間の上限が定められているが、現実の労働社会においては、上限ではなく残業代の割増が発生する基準としてとらえられている。
- 3 日本の賃金制度では、主観的な要素を重視した人事査定によって賃金を決定しており、これが企業間移動を誘発してきたとされる。
- 4 日本では、労働者を具体的な職務に結びつけない雇用契約を結ぶが、日本以外の社会では、労働者と職務の関係を明確にした雇用契約を締結し、使用者の命令によって柔軟に職務を変更する。

二 「パブリックな生活」と題する次の文章を読んで、後の問（問一～問六）に答えよ。

標題の「パブリックな生活」という言葉に首をかしげる人びとがいるかもしれません。いや、きっと多いことでしょう。しかし、かりにこれまでそのような言葉を耳にしたことがなかったとしても、パブリックな生活という次元あるいはそういう生活のひとコマを他人事としてではなく、わが事として意識したり感じたりしたことはなかったと本当にいえるでしょうか。

私たちは一人の個人として日々の生活を一連のものとしてすごしています。その一連のものとみえる生活も、よく考えれば、じつはいくつもの質の違った局面から成り立っています。そして、私たちはある局面から別の局面へとつぎつぎに移動しながら、生活を組み立て、織りあげています。それらの局面のうち、かりにパブリックな生活についてはその①リンカクがはつきりとしなくても、プライベートな生活についてはおそらく誰でもが意識しているに違いありません。そのことは、プライベートについての意識が強くなり、それに敏感な人びとが増えてきたことからもうかがうことができます。そこは他人の目に邪魔されない私的な世界です。そのプライベートの問題は今日大きな社会問題となつていますが、パブリックな生活の問題はといえば、^ア皮肉なことに、むしろプライベートの問題を通じて立ち現れ、その問題がパブリックに論じられることによって取って替わられているかのようにもみえます。

たしかにプライベートとパブリック、私的なものと公的なものはひとつの対を成すものですが、**A**は**B**の^{注1}ネガとしてのみ取り扱われるべきものでしょうか。**C**は**D**以外のほかの概念との関係のなかでもその意味を浮かびあがらせることができるのですし、また**E**そのものを^{注2}ポジとしてとらえることも可能なはずで、さまざま複雑な問題をかかえながらも、むしろそうとらえるべきだというのが、本稿で全体を通じていいたいことです。

つぎに、「パブリックな生活」という句のなかのもうひとつの言葉、生活とは何でしょうか。今さら問うまでもないあたりまえの言葉のようですが、ここでは人間による社会的な関係の構築および維持としておきたいと思えます。私たちは

たんに生物的に生存しているのではなく、社会的な関係の網のなかで生きています。また社会的に生きることによって初めて生きることができません。人間社会にとってもうひとつ重要な行為領域が生産ですが、これはいうまでもなく衣食住など人間の生活にとって必要な財・モノを作りだす活動として区分されてきたものです。それはモノを作りだすだけでなく、その交換や流通も含まなければ成り立ちません。つまり生活に届きません。こうして大きくいつて生活と生産というペアを一応設定することができました。

では、パブリックな生活とはどのようにしたらとらえることができるでしょうか。パブリックな社会的な関係の構築および維持という抽象的ない方にたいして、どうしたらもう少し具体性をもたせることができるでしょうか。そこで私の提案は、場所や空間という視点からそれをとらえてみてはどうかということ①です。パブリックな社会関係が成立し、展開している場所や空間という次元でみていこうということ②です。それは、社会関係の構築とはそこに場所や空間を作りだしているのだという考え方を意味しています。と同時に、この視点には場所や空間はそこで作りだされる社会関係のあり方をも逆に規定するという考え方が含まれているということもつけくわえなければなりません。

このようにこの問題が空間的にとらえられるということの例証に、たとえばプライベートとパブリックの概念を考えてみれば、その違いというものがそれぞれの社会関係が展開される舞台の境界線の引き方にあるということがわかります。境界線を挟んでプライベートな空間とパブリックな空間が作りだされ、それぞれに成立しているわけです。プライベートな社会関係はプライベートな空間を必要とし、したがってそれを構成し、逆にプライベートな空間ではそこの社会関係をプライベートなものにする③。ジバが働き、そのようなものとして社会関係が構成されていきます。パブリックにおいても同様のことがいえます。

以上のような考え方を前提とすれば、つぎのようなことがいえるでしょう。パブリックな生活を考えるということはパブリックな空間を考えるということにおきかえてみることでできるといえること④です。では、パブリックな空間とはどのように構築されるものでしょうか。その空間はどのような原理によって構築されているからパブリックという形容詞を被せ

ることができるのでしょうか。二つの原理をあげることができます。私はそれを「言説の公開性」と「異なった他者との共同性」というふうに定式化してきました。

言説の公開性とは、言説の表出つまり表現という行為の自由とそのための行為能力の存在があつて初めて可能となる行為規範であつて、空間の側からみれば場所を支配するルールだということができません。その行為規範の内容は、もつと一般化して、コミュニケーションの自由とコミュニケーション能力といいかえることもできません。異なった他者との共同性とは、いいかえれば、連帯と寛容であつて、他者との関係構築にあつての作法マナーないし行為のモラルに属することです。こうしていえることは、パブリックな空間とは行為原則とともに関係原則によつて作りだされる空間だということになります。つまりその二つの原則によつて支えられた空間の存在様式だといえます。

こうした考え方はきわめて理念的ですが。このような理念の抽出をした人がユルゲン・ハーバーマスというドイツの社会学者ですが、ここでは本稿でこれまでパブリックな空間とよんできたものは「公共圏」という言葉で概念化されています。その概念は理念型ですから、もちろん現実の姿とは違うといえるかもしれませんが。しかし、現実を映しだす鏡として、現実を分析する道具として、また現実を変えるための指針としての役割を果たせるかもしれません。果たせれば有効ですし、果たせなければ捨てればいいわけです。

もう少し理念型の話を続けてみましょう。ここでいうパブリックな空間つまり公共圏とは、西欧における近代という時代の始まりとともに成立した観念だといえます。

中世封建社会の権力構造が長期間かけて解体していく過程のなかから、公権力の相手方として私人の領域つまりプライベートな存在としての人間の領域があるのだという思想が生まれてきます。いいかえれば、国家の相手方として社会というものが対置されて考えられるようになってきます。つまり国家と社会のあいだに境界線が引かれ、社会が固有の自律したものとしてみなされ、そこに国家と社会の分離という構図が人びとの頭のなかに成立してくるわけです。その社会はどうなつていたかといえ、私人たちのプライベートな生産と生活が営まれていました。ここで、この私人たちとは新しく

③ ボッコウしたブルジョアジーをモデル化したものだということを急いで断っておかなければなりません。近代という時代の担い手つまり支配階級となるブルジョアジーはその私人の領域のなかに二つの空間を築きました。ひとつは経済空間としての市場、もうひとつは社会空間としての公共圏です。この公共圏こそは国家権力による検閲に反対し、国家からの表現の自由という権利概念によって理論武装した、自由のための言説空間であり、国家との政治的な交渉関係が展開される緊迫したゾーンだったのです。これをパブリックな空間と位置づけることによって、「公」の所在地は 公権力の領域 から私人の領域へと移動させられたといつてよいでしょう。

(花田達朗著「パブリックな生活」東京大学社会情報研究所編『社会情報学Ⅱ メディア』に基づく)

(注) 1 ネガ……ネガフィルムのこと。撮影したものの明暗、色相が逆転した形で記録されるフィルム。

2 ポジ……ポジフィルムのこと。撮影したものの明暗、色相がそのまま記録されるフィルム。

3 ブルジョアジー……西欧社会の資本家階級のこと。

問一 傍線部①～③のカタカナを漢字に直し、【記述解答用紙】に記入せよ。解答番号は、①〈5〉・②〈6〉・③〈7〉

問二 傍線部ア「皮肉なこと」とあるが、どのような点を指して「皮肉」と言っているのか。最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、【OCR解答用紙】にその番号を記入せよ。解答番号は、5

1 パブリックな生活の問題は、本来ならば他人に邪魔されない私的な世界を保障するために、プライバシー保護を前提として論じられるべきであるのに、むしろ公的な社会問題にすり替えられてしまっている点。

2 パブリックな生活の問題は、本来ならばプライバシーの問題と表裏一体であるはずなのに、公的に論じられることによって、プライバシーの問題だけが忘れ去られてしまっている点。

3 パブリックな生活の問題は、本来ならばそれ自身として論じられるべき問題であるはずなのに、プライバシーの問題をきっかけとして論じられることによって、逆にプライバシーの問題のほうが重視されるようになってきている点。

4 パブリックな生活の問題は、本来ならばプライバシーを守るために公的な場で論じられなければならないはずなのに、意識的な論点のすり替えによって、私的世界の問題になっている点。

問三 空欄 A ～ E には、①「パブリック」か、②「プライベート」のどちらかが入る。その組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、【OCR解答用紙】にその番号を記入せよ。解答番号は、6

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | A | ② | B | ① | C | ② | D | ① | E | ② |
| 2 | A | ① | B | ② | C | ① | D | ① | E | ② |
| 3 | A | ② | B | ① | C | ② | D | ① | E | ① |
| 4 | A | ① | B | ② | C | ① | D | ② | E | ① |

問四 傍線部イ「場所や空間という視点からそれをとらえてみてはどうか」とあるが、そうした視点からそれをとらえることができないのはなぜか。最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、【OCR解答用紙】にその番号を記入せよ。解答番号は、7

- 1 人間が社会関係を構築するにあたって、公共の場所や空間は欠くことのできないものであり、人間はまず、そのような場所や空間を探す行動をとるはずだから。
- 2 パブリックな場所や空間というものは、多くの場合公共性の高いものであり、私たちがプライベートな生活を築く際、まず優先すべきものだから。
- 3 場所や空間は、人間のパブリックな社会関係の構築に伴って作りだされるものであり、そうしてできた場所や空間が社会関係のあり方を決めていくものだから。
- 4 人間は、社会生活を営むにあたって、時と場合に応じて注意深く場所や空間を選択し、パブリックな生活とプライベートな生活を使い分けているから。

問五 傍線部ウ「公権力の領域から私人の領域」とあるが、「公権力」と「私人」を別の言葉で言い換えるとどうなるか。それぞれ本文中から二字で抜き出し、【記述解答用紙】に記入せよ。解答番号は、〈8〉

問六 本文の内容に合致するものを、次の1～6の中から二つ選び、【OCR解答用紙】にその番号を記入せよ。順序は問わない。解答番号は、**8**・**9**

- 1 公共の場におけるモラルやマナーが低下し、プライバシーの保護だけを主張する自己中心的風潮が強まっている中、パブリックな空間は極めて現実的で実的な解決策への手がかりを与えてくれる。
- 2 パブリックな空間は公共圏という言葉で概念化されるものであり、その概念は、現実を映しだす鏡、現実を分析する道具、あるいは現実を変えていくための指針としての役割を果たしてくれる可能性がある。
- 3 パブリックな空間での生活によって、公共の場における私たちのコミュニケーション能力が高められ、より円滑な社会関係を構築することができる。
- 4 パブリックな生活とはパブリックな空間のことであり、個々人の自立的な生活こそが、社会全体の作法ないし行為のモラルを高めることを保障する。
- 5 パブリックな空間とは、西欧において中世封建社会の権力構造の解体に伴って成立した概念であり、近代社会における社会空間としての公共圏でもある。
- 6 経済空間としての市場は、近代の支配階級となるブルジョアジーによって築かれ、そこでは、人びとの生活にとって必要な財・モノを作りだす生産行為と流通経済の基礎となる貯蓄行為が行われた。

三 次の各問(問一～問七)を読んで、それぞれの指示に従って答えよ。

問一 次のA～Dの各群において、傍線部の漢字が正しいものはどれか。1～4の中からそれぞれ一つずつ選び、【OCR解答用紙】にその番号を記入せよ。解答番号は、A **10**・B **11**・C **12**・D **13**

A

- 1 海洋汚染や乱獲などによる水産資源の枯渇が懸念されている。
- 2 一週間ほど前から、口の中の粘膜炎がただれていて痛い。
- 3 会社員の姉は陰約してせつせと貯蓄に励んでいる。
- 4 私の兄は技群の成績で志望の大学に合格した。

B

- 1 祖父の趣味はゲートボールと盆栽だ。
- 2 円満な人間関係を築くためには、お互いに意思の疎通を図ることが大切だ。
- 3 明日の生物の時間にカエルの解剖をするので、今から楽しみだ。
- 4 父の遺言状に不審な点があるので、専門家に筆跡の鑑定を依頼した。

C

- 1 この研究は科学技術の発展に帰与するものだ。
- 2 昨夜は文化祭の準備のために徹夜をしたので、今日は眠くてたまらない。
- 3 去年と比べると、彼女の今年の作品には努力の跡が顕著に見られた。
- 4 彼の研究分野は、物理学、化学、生物学と、多幾にわたっている。

D

- 1 公平無自の心構えが大切だと私は思う。
- 2 信賞必罰を明確にして士気を高める。
- 3 新市庁舎建設の工期が遅れ気味のため、昼夜兼工で工事が進められている。
- 4 負けると思われていた初戦を突破し、選手たちは意気洋洋と引きあげてきた。

- 問二 次のA～Dの各群において、漢字の読み方(カタカナで表記)が正しくないものはどれか。1～4の中からそれぞれ一つずつ選び、【OCR解答用紙】にその番号を記入せよ。解答番号は、A ・ B ・ C ・ D
- A 1 奔走(フンソウ) 2 高尚(コウシヨウ) 3 罷免(ヒメン) 4 寡黙(カモク)
- B 1 詰問(キツモン) 2 徒弟(イトコ) 3 無粋(ブスイ) 4 横柄(オウヘイ)
- C 1 偽(イツワ)り 2 誉(イワ)れ 3 懇(ネンゴ)ろ 4 専(モツパ)ら
- D 1 奏(カナ)でる 2 鎮(シズ)める 3 翻(ヒルガエ)す 4 掲(サ)げる

問三 次のA～Dの に入る最も適切な語を、1～4の中からそれぞれ一つずつ選び、【OCR解答用紙】にその番号

を記入せよ。解答番号は、A ・ B ・ C ・ D

A 父は とした態度をとり続け、周囲の中傷にもひるまなかつた。

- 1 純然 2 釈然 3 忽然こつ 4 毅然きき

B 彼が表彰されるだろうというのは、 の一致するところだ。

- 1 耳目 2 衆目 3 面目 4 徳目

C 二つの案を して、次の会議の資料を作った。

- 1 折半 2 折衷 3 合致 4 協同

D 体育大会での三年生の演舞は だった。

- 1 絶大 2 絶句 3 圧巻 4 圧倒

問四 次のA～Dの に入る最も適切な語を、1～4の中からそれぞれ一つずつ選び、【OCR解答用紙】にその番号

を記入せよ。解答番号は、A ・ B ・ C ・ D

A 突然の大雨に、それまで大通りにいた人々は、蜘蛛くもの子を ようにいらなくなった。

- 1 まく 2 飛ばす 3 隠す 4 散らす

B 半年間準備してきたプロジェクトが突然打ち切りとなり、すべてが水泡に 。

- 1 帰した 2 消えた 3 成した 4 挿した

C 車の運転中、自転車に乗った子供が突然路地から飛び出してきて肝を 。

- 1 砕いた 2 冷やした 3 なめた 4 抜いた

D 柔道の試合で小柄な選手が大柄な選手を投げ飛ばすのを見て、胸が 思いがした。

- 1 やむ 2 すむ 3 やく 4 すく

問五

次のA～Cの各群において、意味の似ているものの組み合わせとして最も適切なものを、1～4の中からそれぞれ一つずつ選び、【OCR解答用紙】にその番号を記入せよ。解答番号は、A 26・ B 27・ C 28

- A
- 1 随分—整然
2 固執—確信
3 償還—滞納
4 鷹揚—寛大

- B
- 1 のれんに腕押し—豆腐にかすがい
2 焼け石に水—枯れ木も山の賑わい
3 弱り目に祟り目—河童の川流れ
4 怪我の功名—自業自得

- C
- 1 吹聴する—聞き耳を立てる
2 改正する—場数を踏む
3 ごまかす—お茶を濁す
4 祈願する—秋風が立つ

問六 次のA・Bにおいて、例文の傍線部の語と同じ意味のものを、1～4の中からそれぞれ一つずつ選び、【OCR解答

用紙】にその番号を記入せよ。解答番号は、A 29・B 30

A 例 兄は、来年の春から、母校で教鞭きょうべんをとるようになった。

1 部下が失敗したら、その責任をとることも上司の仕事の一つだ。

2 オリンピックの記録映画をとることが決まった。

3 文壇の大家が十年ぶりに筆をとることが話題になっている。

4 わが社では、一月に新入社員をとることになった。

B 例 貧しいながらも明るい家庭に育った。

1 ここには昔ながらの町並みが残っている。

2 働きながら高校に通い勉強した。

3 知っていながら教えないのは卑怯ひきょうだ。

4 上司の顔をうかがいながら仕事するのはやめた。

問七 次のA～Dの傍線部の意味として最も適切なものを、1～4の中からそれぞれ一つずつ選び、【OCR解答用紙】に

その番号を記入せよ。解答番号は、A 31・B 32・C 33・D 34

A 箔はくを付けるために、会社の語学研修に参加することを決めた。

1 難易度の高い仕事に就くこと。 2 貫禄かんろくや値打ちを身に着けること。

3 感性を磨くこと。 4 臨時の給料を得ること。

B 彼は、上司のいるところで、聞こえよがしにこの企画の方針を批判した。

- 1 相手のいないところでこっそりと。
- 2 わざと相手に聞こえるように。
- 3 どこかで聞いてきたかのように。
- 4 相手が気づかないように小さな声で。
- C まだ新人だった私に、上司が手心を加えてくれたことを、今でも感謝している。
- 1 寛大な評価や取り扱いをすること。
- 2 仕事の一部を手伝うこと。
- 3 手取り足取り、教えること。
- 4 重要な仕事を任せること。
- D 新しくオープンした遊園地に出かけ、あまりの人ごみに辟易へきえきした。
- 1 その場の状況にうんざりすること。
- 2 激しく憤りを感じることに。
- 3 疲れ切ってしまうこと。
- 4 驚いて慌てふためくこと。

「国語の問題は以上です。」

平成 28 年度（2 期） 入学試験問題

数学 I ・ A

（時間 60 分 配点 100 点）

受験上の注意事項

- 【1】 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 【2】 受験票、解答用紙及び机上の受験番号シールに印刷された受験番号及び氏名が間違っていれば、速やかに監督者に知らせなさい。
- 【3】 この問題冊子は、本文が5ページあります。
問題冊子の印刷が不鮮明であったり、ページが落丁・乱丁していたり、解答用紙に汚れ等がある場合には、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 【4】 机上には受験票・筆記用具及び時計等監督者から指示された物以外は置いてはいけません。
- 【5】 監督者の指示があるまで退室はできません。
- 【6】 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。
- 【7】 解答用紙はコンピュータで直接読み取るので、特に次の点に留意しなさい。
 - ① 記入にはHB（0.5mm）のシャープペンシルを使用しなさい。
 - ② 解答用紙の「記入例」を参照して丁寧に記入しなさい。乱雑に記入したものは不利になります。
 - ③ 折り曲げたり、汚したりしてはいけません。
 - ④ 解答用紙には、答案に関係のない語句・記号を書いたり、落書きをしてはいけません。
（問題冊子には書き込んでもよい。）
 - ⑤ 誤って記入した場合は、消しゴムできれいに消して書き直しなさい。
 - ⑥ 解答が一桁の場合には右詰めで記入しなさい。（次の例を参照しなさい。）

〔例〕 解答番号①の解答が 4 である場合
解答番号②の解答が 12 である場合

解答番号	1	2	
解答欄	8 4	1 2	

↑ 左側をあける

注意

特に間違えやすい記入例

正

1

誤

1 1

これらは7と判断する恐れがあるので特に注意しなさい。

平成 28 年度（2 期）数学 I ・ A 入試問題

- ・ 解答は 1 ～ 99 までの数字を解答欄に直接記入せよ。
- ・ 分数形で解答する場合は既約分数で答えよ。
- ・ 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えよ。

I 次の各問の空欄に当てはまる最も適切な数値を記入せよ。

問1 $\frac{1}{1+\sqrt{6}+\sqrt{7}}$ の分母を有理化すると、 $\frac{\boxed{1} + \sqrt{\boxed{2}} - \sqrt{\boxed{3}}}{\boxed{4}}$ となる。

問2 $4x^2 + 11xy + 6y^2 + 18x + 11y - 10$ を因数分解すると、
 $(x + \boxed{5}y + \boxed{6})(\boxed{7}x + \boxed{8}y - \boxed{9})$ となる。

問3 2700 の正の約数の個数は $\boxed{10}$ 個である。

問4 次の問いに答えよ。

(1) $101011_{(2)}$ を 10 進法で表すと $\boxed{11}$ である。

(2) $0.2101_{(3)}$ を 10 進法で表すと $\frac{\boxed{12}}{\boxed{13}}$ である。

Ⅱ 次の各問の空欄に当てはまる最も適切な数値を記入せよ。

問1 A, B, C, D, E, Fの6人が、くじ引きで順番を決めて1列に並ぶとき、

(1) 両端がAとBである確率は $\frac{\boxed{14}}{\boxed{15}}$ である。

(2) AとBが隣り合う確率は $\frac{\boxed{16}}{\boxed{17}}$ である。

問2 A, B, C, D, E, Fの6人が、くじ引きで順番を決めて等間隔に輪の形に並ぶとき、

(1) AとBが正面に向かい合う確率は $\frac{\boxed{18}}{\boxed{19}}$ である。

(2) AとBが隣り合う確率は $\frac{\boxed{20}}{\boxed{21}}$ である。

Ⅲ 2次関数 $y = ax^2 - 2ax + b - 2$ のグラフを C とする。ただし、 a 、 b は定数とする。このとき、次の各問の空欄に当てはまる最も適切な数値を記入せよ。

問1 C が2点 $(-2, 1)$ 、 $(1, 4)$ を通るとき、

$$a = -\frac{\boxed{22}}{\boxed{23}}, \quad b = \frac{\boxed{24}}{\boxed{25}} \text{ である。}$$

問2 この関数の最大値が3であり、 C が点 $(-1, 1)$ を通るとき、

$$a = -\frac{\boxed{26}}{\boxed{27}}, \quad b = \frac{\boxed{28}}{\boxed{29}} \text{ である。}$$

問3 C が x 軸と接し、点 $(3, 2)$ を通るとき、

$$a = \frac{\boxed{30}}{\boxed{31}}, \quad b = \frac{\boxed{32}}{\boxed{33}} \text{ である。}$$

問4 区間 $0 \leq x \leq 4$ において、この関数の最大値が5、最小値が-2であるとき、

$$a = \frac{\boxed{34}}{\boxed{35}}, \quad b = \frac{\boxed{36}}{\boxed{37}}, \quad \text{または} \quad a = -\frac{\boxed{38}}{\boxed{39}}, \quad b = \frac{\boxed{40}}{\boxed{41}} \text{ である。}$$

IV $\triangle ABC$ において, $AB=3$, $AC=5$, $\angle A=120^\circ$ とする。このとき, 次の各問の空欄に当てはまる最も適切な数値を記入せよ。

問1 辺 BC の長さは $\boxed{42}$ である。

問2 $\triangle ABC$ の外接円の半径は $\frac{\boxed{43}\sqrt{\boxed{44}}}{\boxed{45}}$ である。

問3 $\triangle ABC$ の面積は $\frac{\boxed{46}\sqrt{\boxed{47}}}{\boxed{48}}$ である。

問4 $\angle A$ の二等分線と辺 BC の交点を D とするとき,

線分 AD の長さは $\frac{\boxed{49}}{\boxed{50}}$ である。

[数学の問題は以上です。]